

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年7月2日

事業者名: 飛騨冷凍空調 株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	冷媒ガスの管理・省エネ機器への更新は、エネルギー効率改善につながります。 使用済みエアコンや冷凍冷蔵ケース・冷凍機からのフロンガスを適正に回収し、廃棄物の処理責任を果たす取り組み。 高効率エアコンは消費電力が少なく、CO2排出を抑えられるため、それらを、積極的に提案・施工することで、顧客のエネルギー効率改善に貢献している。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑬気 候変動に具体的な対策を 、⑫つくる責任 つかう責 任	令和元年から6年間平均 年間600kg以上のフロンガスを回収しています。 主に回収している冷媒（例：R22、R410Aなど）は、CO2の約1,800～2,000倍の温室効果を持ちます。 そのため、年間600kgを超える回収は、おおよそ1,000トン以上のCO2削減効果に相当し、地球温暖化防止に大きく寄与しています。	指標	フロンガスの放出を減らす。
					目標	弊社のお客様のエアコンや冷凍機のフロンガスの放出を未然に防ぎ、2030年までに漏洩量年間約150kg減を目標にします。 その為に、機器の点検や遠隔監視システムの導入の提案を積極的に行い、目標達成を目指します。
社会	地元中学校、高校の職場体験を受け入れる。		④質の高い教育をみんなに	令和6年度、中学校1校、高校2校の受け入れ。	指標	地元中学校、高校の職場体験の受け入れ人数を増やす。
					目標	学校との連携を密にして、毎年中学生や高校生を2名～3名を受け入れることを目指します。
経済	基幹システムの導入により、業務の効率化を推進する。 健康経営の推進。		③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も	基幹システムの導入は、令和7年度からの為実績はありません。（令和7年度はテスト期間となります） 社員全員に健康セミナーを受講。	指標	基幹システムを全従業員が、使用して効率よく業務を行う。
					目標	2029年度までにあらゆるデータを電子化にする（80%以上目指す）
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 毎月の会社全体の会議にて、SDGsの達成に向けた取組みについて共有し、更に達成するための試案の意見交換をしています。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取組の記載ページ： http://www.hidareito.jp				